

# 網代現地視察報告書

1 日時 令和5年3月18日（土）～令和5年3月19日（日）

## 2 三軒茶屋キャンパス参加者

- ① 危機管理学部 工藤 聡一 教授
- ② 教学サポート課 羽川 亮司 課長補佐（公務のため19日欠席）
- ③ 教学サポート課 森 友樹 主任
- ④ 教学サポート課 中嶋 剛志 課員
- ⑤ 工藤ゼミ生 5名
- ⑥ 工藤ゼミ生（OB・OG）4名

## 3 目的

本報告書は、熱海市網代の地元企業及びあじろ家守舎と危機管理学部工藤ゼミ生との意見交換及び現地調査を目的として実施した。

## 4 工程表

	日付	工程記録
1	3月18日（土）	11：00 網代駅到着 13：00 マリンホール移動 13：30 ①オープニング・ミーティング ②工藤ゼミによるプレゼン ③あじろ家守舎による網代の現状 ④地元企業による網代での取組み ⑤意見交換会 16：30 終了 18：00 宿舎夕食会場 交流会 21：00 1日目終了
2	3月19日（日）	8：30 網代小学校視察 10：00 ロゲイニングスタート 開始地（網代小学校） 13：00 目的地（芝生の広場） 13：30 昼食及び意見交換会 14：30 終了 15：00 網代小学校 ゼミOB・OGによる就活の手ほどき

	日付	工程記録
	3月19日(日)	17:00 終了 17:30 網代駅 解散

## 5 ゼミ生によるプレゼン

熱海市、家守舎、危機管理学部工藤ゼミの産官学で連携し、以下の3点を目標としたプロジェクトを防災教育の観点から試案している。また、令和3年には11月には、網代小学校での「防災キャンプ事業」を試案し、現在は実現に向けてキャンプ内容を検討している。プレゼンテーションを15分程度実施した。

- ①災害危険性の高い地域に安心して訪れる・住むことができる街づくり。
- ②地域活性化。
- ③移住者の増加目標とした網代の防災対策。



## 6 地元企業等による説明

### ① あじろ家守舎

網代の防災対策の状況やあじろ家守舎の取組みの発表を行った。

### ②(株) 東豆製品

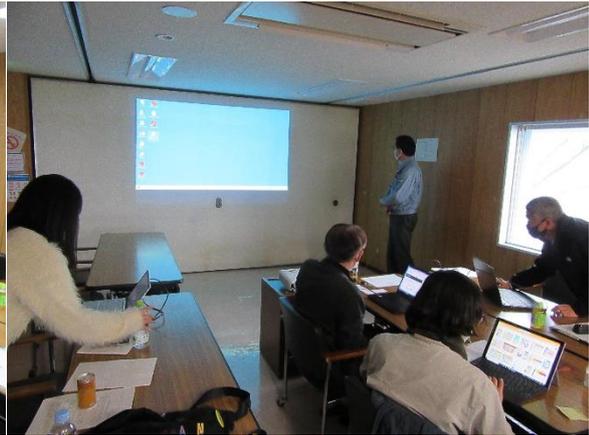
自社製品のドローンによる説明、令和3年熱海市伊豆山地区の土砂災害において、地元警察から要請を受け当日の夕方からドローンでの撮影した映像を見せていただいた。

### ③(株)ドコモビジネスソリューション

携帯電話の災害時の問題点を説明、電波状況が悪くなると電話としての機能が発揮できない。今後アプリを活用した防災時の対応を検討している。

### ④YAMAP

自社製品のアプリの説明、災害時や電波の届かない山でも現在地が分かるアプリを開発。



## 7 網代小学校視察

網代小学校は令和3年3月26日に廃校になり、現在は地元住民の避難場所となっている。また、今後の展望として、あじろ家守舎や地元有志によってイノベーションを図り、地元企業の事務室貸出、地元住民の憩いの場として提供、災害時の防災対策を模索している。



## 8 ロゲイニング

「2 三軒茶屋キャンパス参加者」9名で3チームに分かれ、YAMAPのアプリを使い、11時に「網代小学校」をスタート地点とし、13時に「芝生の広場」をゴール地点に設定し、網代街の指定する場所を歩いた。

(到着後の意見交換会のゼミ生)

- ①網代の街は、海沿いで避難経路が多く提示されているが、経路が山や坂道になっており、高齢者の避難は現実的ではないという印象である。
- ②道に迷っていると地元住民が優しく教えてくださり、人柄の良い印象を受けた。
- ③網代の街を歩いて、改めて危機管理学部工藤ゼミとして様々な事を提案したいと思った。



## 9 ゼミOB・OGによる就活の手ほどき

ゼミOB・OG（令和3年卒）による現状の報告を行った後、自身が3年次だった時の就活への取組みを説明。その後、個別相談ブースを設けゼミ生の相談に対応してもらった。



## 10 視察者感想

あじろ家守舎の方や企業の方から貴重な説明を聞くことができ、網代の現状や問題点を改めて知ることができた。また、ロゲイニングでは網代の町の方々の優しさや町の様子が分かるとても素晴らしい取組みであった。学生・卒業生が協力してミッションをクリアしていく行程を微笑ましくも頼もしく思い、工藤ゼミの絆の強さを知ることができた。

また、今回の視察をとおして、網代に住む住民の防災対策や現状を知り、工藤ゼミが掲げた「熱海市、家守舎、危機管理学部工藤ゼミの産官学」のキックオフに立会うことができ、改めて危機管理学部の開設の意義を考えさせられる時間であった。

以 上